

令和4年度第2回当別町地域公共交通活性化協議会議事概要

1 開催日時及び開催場所

日時:令和4年10月6日(木)13:30~14:30

場所:当別町役場第2庁舎 2階会議室

2 出席委員

別紙委員名簿のとおり

3 協議会の概要

≪次第2 報告事項≫

(1)計画策定に係る各種調査結果の中間報告について

資料 1-1、資料 1-2 に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

≪次第3 協議事項≫

(1)バス停留所の名称変更(案)について

(2)バス停留所の新設及び運行経路の変更(案)について

(3)令和4年 12 月 1 日付け運行ダイヤ改正(案)について

資料 2、資料 3、資料 4-1、資料 4-2 に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

≪次第4 その他≫

(1)当別スウェーデンマラソンにおける迂回運行について

資料 5-1、資料 5-2 に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

(2)今後のスケジュールについて

資料6に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

【全体質疑】

經龜副会長:先日ニュースで「月形当別線」の利用状況が低迷している事が取り上げられていたが、今後国の補助路線として維持するのが厳しくなる可能性があるが、沿線住民の意識はどうか。

増輪会長:今後アンケート調査をすべきかどうか。計画策定に向けた調査に盛り込めるのか。

事務局:OD 調査は実施しているが、今後沿線に向けたアンケートは考えていない。今後はデマンド運行等検討する必要があると考えている。また、「月形当別線」については、過去に月形町内の高校へ通学する利用者がおりましたが、現在では通学利用者が居ない状況である。

増輪会長:協議会としては、住民の方の足を確保する必要があり、デマンドバスの運行等を含めて、月形町と連携しながら検討していく。

増輪会長:今回の協議会より新たに委員となられた菅田委員より一言お願いしたい。

菅田委員:免許返納と公共交通は両天秤になると考えている。公共交通が充実すると免許返納が進んだり、逆に免許返納が進めば公共交通の利用者が増えることもあると思う。現状では、当別は免許に関連した事案が多い傾向にあり、公共交通に期待しているところである。

以 上